

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2010年4月号(第27号)

発行責任者 山田 武

公開講演会報告 <3月17日>

「藤沢周平の魅力」 企画部 渡邊浩平



3月17日(水) 小手指公民館分館ホールにて講演会とアトラクションのオカリナ演奏があった。

講師が「早稲田で一番面白い授業」に選ばれた同大学院教授高橋敏夫先生で

あり、演題も「藤沢周平の魅力-生きづらい時代にこそ輝く言葉」-と大変興味をそそるものであったため参加者が約250名(会員一般略半々)となる盛会だった。

■講演会：藤沢周平の魅力を山本周五郎との共通点・ちがいを対比させ、登場人物(武士も市井の人々も)の中に「かっこよく生きて死ぬ」を称揚せず、かけがいのない日常を「辛抱強く生きる」人々を描き、その中に互いの「苦しみと悲しみ」をひそかに交感する、藤沢周平が読者にくれた「鬱屈の交感」というもっとも大きな贈り物について述べられた。この鬱屈の交感が、人を生の行き止まりに追い込むのではなく、むしろ行き止まりと観念していた壁に小さな穴をあけ、人になお生きることを促すものであり、鬱屈だけをとればかぎりなく孤立に傾くが、その交感人は人を孤立から共生へ、更には連帯して生きるところにまでつれていくと、我々の感情心理の琴線に触れる藤沢周平その世界を述べられた。まさに生きづらい時代にこそ輝く言葉・安らぎを与える世界であり女性読者が多いと言うことも理解できる。もっと広く深く聞きたかったが時間の制限があり残念だった。

■アトラクション：倶楽部会員9名によるオカリナとウクレレ演奏があり、心やすらぐ8曲の演奏が好評だった。



<今年度の全体活動計画&実績>

月・日	内容	場所
H21 11. 19	第3期 定期総会	市民文化センター
H22 2. 6	講演会及び サークル紹介・勧誘	所沢市 保健センター
3. 17	公開講演会 「藤沢周平の魅力」	小手指公民館 分館
5. 27	工場・施設見学会：サントリー工場	府中郷土の森公園
7.	市民大学受講者による 講演会	
9.	日帰りバス旅行	
10.	サークル活動報告会& 親睦会	

- ・詳細日程については確定次第お知らせします。
- ・太枠、網掛け部分は実績を表します。

<5月度 工場・施設見学会の案内>

■日時：5月27日(木)

■集合場所：武蔵野線府中本町改札出口

■集合時間：9時45分

■スケジュール

10時～11時30：サントリー工場見学

12時～13時：昼食(郷土の森公園内)

13時～14時15：ボランティアガイド
による博物館等の説明

■問合せ先：

小野ちづる：2990-8397

加曾利厚雄：2939-2308



<ビールの貯酒タンクの中>

「第3期-4回 理事会報告」

日時 H22.3.8(月)10:00~12:07

内容

■「いきものふれあいの里センター」へのパネル展示について

現在、「いきものふれあいの里センター」は、財団法人トトロのふるさと財団が県の指定を受け管理運営を行っています。

今年度COP10が名古屋で開催されるにあわせ、「いきものふれあいの里センター」ではこれに関連したイベントが実施されます。

そこで、ところざわ倶楽部に「地域の自然をベースにしたサークル」の活動内容の成果の展示依頼がありました。

- ・展示物印刷・用紙などの経費：倶楽部負担、
 - ・開催時期・期間：秋口頃で10日間、
 - ・展示方法：両面パネル：110cm*110cm3枚、片面パネル：80cm*390cm1枚
- ところざわ倶楽部としては、

テーマに関連するサークルを中心として参加することに決定しました。細部についてはサークル代表者会議(3月30日)で議論して行きます。

■5月の工場・施設見学について

見学場所は、昨年インフルエンザのため中止となったサントリー・ビール工場と府中の森公園を計画しており、詳細は3月30日に下見をして決定します。

日時は5月27日、80名位を予定しています。

■サークル代表者会議について

サークル代表者会議は、今年から定例理事会とは別に事業部主催で開催することにしました。サークル間の交流・情報交換を図ります。

■広場4月号の構成と発行

トップページは、3月17日の公開講演会の記事とし、3月30日のサークル代表者会議は特集記事を掲載します。

発行日は4月5日の予定。

＜次回の理事会＞

H22.4.12(月)10:00~12:00

場所 新所沢コミュニティセンター別館

出席者 理事

◇ 市民大学は 今 ◇

生涯学習推進センター人事異動

■永年お世話になりました又吉所長が定年を迎えられ、金子さん(前文化財保護課課長)に代わられました。

■又、事務局の加藤さん、森田さんが異動となりました。

新たな事務局の方々については、担当が決まり次第ご紹介致します。

17期活動

■3月19日に市民文化センターにおいて1年次の終了パーティを行いました。

各グループのアトラクションを楽しみ、1年次の仲間との思い出話や2年次の新たな仲間との顔合わせに話が弾みました。



■4月2日に2年次の運営とグループワークに対するオリエンテーションを実施し、いよいよ2年次のスタートを切りました。

10月には、グループワークの発表会を中央公民館において一般公開で開催いたしますので、楽しみにしてください。

18期活動

■18期の募集を開始しました。

広報(翔びたつひろば)、への掲載及び、各公民館などへの「募集要項」配置を実施中です。

＜概要＞

- ・2年制：H22年6月~H23年10月
- ・定員：80名(応募者多数の場合は抽選)
- ・参加費：7000円(1年次、2年次共)
- ・1年次のプログラム&日程は下記の通り。
 - ・開催期間：H22/6/1~H23/3/15
 - ・人文科学系、社会科学系、自然科学系、所沢学系の各3講座、合計12講座とし、特別講座として「介護保険制度」を追加。
 - ・開講式特別講演は高橋玄洋先生、所沢市長の特別講演なども計画しています。

■ご近所及び、友知人にお勧め頂く様お願いいたします。

サークル活動計画

- 興味がある活動には、他サークルの方も参加して見ませんか。
- 参加希望者は代表者に事前に必ず電話して下さい。



ダースの会 (斉藤昌宏 2998-0406)

4/7 (水) 第3回定期総会・中央公民館6号室
終了後「百味別館」にて親睦会。
4/21 (水) 昭和記念公園花見散策。
5/6 (木) 定例会・学習会 DVD 歌舞伎鑑賞。
5/19 (水) 新緑ハイク(場所未定)。
5/21 (水) 国立能楽堂「能楽・井筒」鑑賞会。

アジア研究会 (黒見徳美 2995-4290)

4/21 (水) 定例会 13時～16時
場所/中央公民館 学習室3号(新公民館)
テーマ 日中関係について考える
講師 陳健新さん(所沢在住 中国人元通訳)
5/19 (水) 定例会

傍聴席 (高垣輝雄 2926-7164)

4/19 (月) 定例会 14時～17時 (変則・注意)
新所沢コミュニティセンター別館
テーマ・三月市議会のポイント：市議会議員・高田氏
・22年度予算について・ブログ「傍聴席」情報
「広報ところざわ」4月号を読む
5/10 (月) 定例会・自治基本条例の説明ほか

楽悠クラブ (甲田和巳 2924-0172)

映画「野ばら」鑑賞
《ウィーン少年合唱団の美しい歌声とオーストリアを
舞台上に繰り広げられる感動の名作》
・日時：4/13 (火) 13:30～
・場所：中央公民館8・9号室

地球環境に学ぶ (塚本二郎 2942-3117)

4/20 (火) いきものふれあいの里センター周辺自然
観察会 & 講演会受講
東村山駅 9:30 集合 散策
13:30 からセンターにて【講演会受講】
※他サークルの方も一緒にいかがですか。
・講師 劉馬良一氏(前所沢高校生物担当教諭)
～自然環境の変化と狭山丘陵の生き物たち～
・場所 下山口駅下車、徒歩15分位です。
・時間 13:30 から1時間くらい
5/18 (火) 15:00～定例会
新所沢コミュニティセンター別館(学習室5号)

地域の自然 (加茂恵三 2944-6554)

4/10 (土) 9～12 午前調査 総会兼ね昼食会
4/24 (土) 9～12 午前調査午後芹摘みほか
一度参加してみませんか。

所沢の自然と農業 (都築拓郎 2996-1972)

4/4 (日) 10時～14時 横山農園「里山の写真展」
4/13 (火) 13時半～ 定例会 学習センター
4月中 随時 関谷農園 農作業支援
5/11 (火) 13時半～ 定例会 学習センター
5/未定 有機栽培農家同士の懇談会企画

歴史散策クラブ (大河原功 2943-2004)

4/3 (土) 中世の所沢、新所沢東公民館 9:30
4/10 (土) 鎌倉街道散策、狭山市駅西口 10:00
4/24 (土) 勉強会/会議、新所沢東公民館 9:30
5/8 (土) 平林寺と野火止用水、清瀬駅南口 10:00
6/12 (土) 鷹の道と殿ヶ谷戸庭園、集合場所・時間未定

ドラマティック・カンパニー (梅本 2926-8723)

4/4 (日) 所沢市立中央公民館のオープン記念行事
に参加 (a.m.10:00～10:30＝オセロ朗読)
4/17 (土) 新所沢コミュニティセンター分館で定
例活動 (a.m.10:00～12:00＝リチャード三世)
5月活動予定日：1日(土)、15日(土)

北欧の会 (樋口俊夫 090-6483-7993)

4/17 (土) 第12回例会 13時20分
デンマーク旅行のお話し
5/15 (土) 第13回例会 13時20分
6/12 (土) 第14回例会 13時20分
新所沢コミュニティセンター別館

おたまじゃくしの会 (岡本 2948-7674)

4/9 (金) 所沢駅 2.3番ホーム 09:00
花の昭和記念公園等 散策
5/24 (月) 13:00～
映画音楽鑑賞 中央公民館 8.9号室

地域の自然を考える会（海老沢 2922-0259）

4/27(火)いきものふれあいの里センター周辺観察会

9時55分下山口駅集合 植物図鑑・弁当持参

5/25(火)探鳥会（菩提樹田圃周辺）

（詳細は4/27に打合せします）

公園を楽しむ会（加曾利 2939-2308）

4/22(木)9時30分花小金井駅集合

小金井公園散策と江戸東京建物館見学

5/27(木)ところざわ倶楽部工場見学会を会の活動日とします。多数参加をお願いします。見学会終了後秋津駅前の「さくら水産」で会合を開催します。

野老澤の歴史をたのしむ会（嶋崎 2948-7331）

4/15(木) 狭山湖周辺の歴史探訪

西武狭山線 球場駅前集合 午前10時

■詳細については会員あて別途連絡いたします。

葵の会（池田新八郎 2940-0711）

4/8(木) 上野東京国立博物館見学

及び庭園散策

・ 特別展示（加納探幽他江戸時代の日本画）

・ お花見

5/13(木) 定例会

私たちのサークル活動紹介**「野老澤の歴史をたのしむ会」**

16期「所沢市史」グループのメンバーが新たに立ち上げたサークルです。

- 1、現在の会員は24名です。（内訳は、14期生2名16期生22名。男8名女16名）
- 2、活動日は原則第3木曜日です。
- 3、活動場所は、生涯学習推進センター又は中央公民館等です。
- 4、年会費は1000円（入会費は0円）です。
- 5、活動内容（会則で）

- (1)歴史の現場を知って触れて観察して楽しむ
- (2)テーマを設定して研究
- (3)近現代の所沢に影響を与えた人の研究

具体的な活動

会員の意見を聞きながら活動計画作成中です。

《ちなみに1～3月例会では》

- ①1月の例会、21日にサークルの発足をを行い、会の会則を決めた。
- ②2月の例会、18日に3月以降の具体的な活動について検討した。

《検討の結果》

○3月例会は、旧町の歴史探訪等

○4月例会は、山口貯水池付近の探訪（ところざわ倶楽部「広場」2月号に掲載の「司水さんのサクラ」の見学を含める。）

○5月例会以降は、教育委員会作成の「所沢市郷土かるた」にある名所旧跡を訪ね（「郷土かるた」を見て今後の進め方を決める。）

- ③3月の例会は、26日に中央公民館が開催する「旧町の歴史探訪」Bコースに参加した。

(文)嶋崎 2948-7331

＜事業部活動と今後の予定＞**サークル代表者会議（第1回）開催**

3月30日(火) 生涯学習推進センター

◆ 全・15サークルが出席、サークルの現状と今後の問題点を話し合いました。今年度新たに加わった3サークルも含め、意欲的に活動を始めている様子が報告されました。ほとんどが2月の活動説明会の時点より会員を増やしており、今後の充実が期待されます。

◆ 毎年の活動発表会について企画担当者から、どの形式で行うのがよいかとの問いかけがありました。すべてのサークルが短時間で満遍なく発表するという、今までのやりかたを考え直す時期に来ているとの反省が多く出されました。発表を目的に活動しているわけではないとの意見もありました。

◆ 代替案として、行政、あるいは生涯学習推進センターの行事に参加して、誰でも発表、報告が出来るような、文化祭的なまとめをしたらどうかという案、また、特に今年度は、ところざわ倶楽部が「いきものふれあいの里センター」への発表・展示の依頼を受けており、数が多い自然・環境関係のグループがまとめて発表を行い、イベント的な要素も加味する案にも賛同者が多く、具体的に動き出しそうです。

◆ ポイントを決めて、楽しい発表会が行われ、サークル同士の交流が密になり、市民にもところざわ倶楽部の情報が提供出来るよう、今後の話し合いを期待したいと思います。

事業部 平栗彰子

誰でも・何でも掲示板

■皆さんの投稿をお待ちしています。

特別会員からのメッセージ

— 所沢の旬の花・自然 —

雪割草

西所沢駅から東に7～8分歩いたところに永源寺と云う寺がある。春の彼岸の頃になると、寺の境内に白やピンクや紫色の可憐な花が咲く。雪割草である。雪の下でも葉は常緑であることから雪割草と云われ、また葉が三角形に近く三つに分かれていることからミスミソウとも云われている。可憐な草姿、美しく豊富な花色と花型、変化に富んだ葉型など人々を魅了してやまない。



山あいに咲く雪割草を詠った美しい詩がある。

♪ 雪割草の その花に
小さなささやき 聞きました
谷の流れも その音も
沢吹く風の その音も
信濃の山の 思い出に
(中略)

雪割草の その花に
添えての便りに 聞きました
雪解け水の その音も
やわらく風の その音も
可憐な花の 思い出に ♪

(野口家継作「雪割草にしのぶ」より)

また、永源寺は室町幕府の関東管領上杉憲顕の家臣大石信重ゆかりの寺。大石信重は木曾義仲の7代の孫で武蔵野国守護代。大石信重の墓はこの寺の裏手の高台にあり、所沢市の指定文化財になっている。

楽悠クラブ (甲田)

我が人生に悔いあり

15期 日本経済講座担当 浜林正夫

人生に悔いは沢山ありますが、なかでも最大の悔いは、イギリス近代史を専攻しているにもかかわらず、イギリスへ留学できなかったことです。



戦後かなり長い間、文部省留学は地方大学には割り当てがありませんでした。そこで欧米諸国が募集している留学生に応募せざるを得ず、私はイギリスが毎年10名ずつ募集していた留学生に応募しました。面接の試験官は2名のイギリス人と10名ほどの日本人でした。私を担当したのは私の母校で学長をつとめられた中山伊知郎先生で、私のことも覚えていてくれたので気楽に日本語で応答しました。

ところがそれが終わったら、中山先生が「いまの君がしゃべったことをこの方に伝えてください」といってイギリス人試験官の方を示しました。私はどぎまぎしながら下手くそな英語で話したのですが、途中でその試験官が怒り出しました。それは私のやりたいテーマについてはイギリスでも研究が少ないと言ったためだということが、後で分かりました。

後になって中山先生からは、あのイギリス人試験官が国に帰るまでは君には見込みはないよと言われてしまいました。



もっとよく準備して、イギリスで学びたいことを力説しないとだめだと諭され、自分の未熟さを思い知らされた次第です。

「地産地消の料理教室」に参加して

「地球環境に学ぶ」 井手 敏直

去る 2/19、柳瀬公民館にて地産地消を推進する料理教室が開催され、我が「地球環境に学ぶ」メンバー5名（女性1名、他は男性）が参加した。所沢市の農政課、畜産協会などの協力を得て、フードマイレージが少ない地元食材を使用した下記献立で調理、試食した。

- ①じゃこチーズごはん ②フォールさんのとんかつ ③黒胡麻プリン
④しめ卵と水菜のお吸い物 ⑤ほうれん草とヤーコンの胡麻マヨ和え

以上の5品で、埼玉産米「コシヒカリ」をはじめ、ヒレ肉、卵、野菜などすべて地元の食材を利用。（ヤーコンはさつま芋のような形状で、中身はレンコンのような感じ）市給食課の田中先生指導の下、調理スタート。予想以上に早く出来上がり、料理が冷めないうちにということで、少々早い昼食となった。男性多数派の当Gではあったが、日頃のお手伝い振りを発揮してなかなかの出来映えで、皆さん完食、大変おいしく頂いた。食後の懇談会で、当Gメンバーが「今後の所沢の畜産に関する展開、展望」などについて質問。畜産はハエや臭気などが問題となりがちで、近隣住民と共存共栄できるよう極力配慮しており、また後継者問題も深刻な状況などの苦労話があった。（地産地消の料理教室にふさわしい質問だったと好評）帰りには新鮮な卵1パックをお土産にいただき、大満足の半日でした。



☆ コンサートのお知らせ ☆

音のつどう風景・その25 福井 敬 ～春に歌う

共演 ソプラノ・渡辺由美香 ピアノ・谷池重純子

♪♪～曲目～♪♪ ♪グリーク：君を愛す J. シュトラウス：春の声

♪武満徹：死んだ男の残したものは ♪ブッチーニ：「トスカ」より 妙なる調和、星は光りぬ

♪ブッチーニ：「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ

♪オフエンバック：「ホフマン物語」より 森の小鳥は憧れを歌う ほか

4月23日（金）19：00開演（18：30開場） 市民文化センター ミューズ・キューブホール
全席自由：3000円／当日券3500円

問合せ：音のつどう風景実行委員会 中村直子 2925-2300 平栗彰子：2925-3746

日本を代表するテノール歌手・福井敬さんが「音のつどう風景」に登場。輝かしい声ドラマティックな表現力で、オペラアリアをはじめとする名曲を歌い上げます。ぜひお聴き下さい。

文芸コーナー



初吟行

むさしの俳句会 海老澤愛之助

三月二十六日、会が発足して初めての吟行を行った。

場所は国分寺駅前に近い「殿ヶ谷庭園」で二十名が参加した。午後一時の集合に合せ銘々が会場の庭園を思い思いに散策し、俳句を二句ずつ投句し句会をたのしむと言つものであった。半数以上が始めての吟行経験で、前日の雨の予報を覆す良い天気恵まれ事務方としては、それだけで胸をなでおろした。

ものの芽の名を言いあいて歩きけり 小林典子
吟行のうきうきした気分で、仲間同士が歩きながらおしゃべりを楽しみ、庭園の木々や花々を観察している様子が良く出て楽しい句だと思えます。

かたくりのそこだけ風の通り道 平栗彰子
七年の時を経て咲くと言われる片栗の花が、楚々と咲いていました。微風に木々はそれほど動いていません。そんな中で片栗の清楚な花は、微かに揺れています。そのような様子を良く観て詠んでいます。

◇ 編集後記 ◇

4月の年度替わりもピンと来なくなった此の頃ですが、もうすぐ「ピッカピッカ」の新入生があちこちで見られる季節です。何か一つでも新たな気持ちで取り組みましょう。

◇ 広場・問い合わせ ◇

中村 2921-3598 後藤 2944-1470
甲田 2924-0172 清水 2944-8835
荒幡 2922-0318 堀内 2924-1979